

女性医療従事者によるリレーエッセー

慈愛の心



みらい小児科クリニック
院長
武藤 未来

第78回 魔法のくすり



「AMR(薬剤耐性)アクションプラン」をご存じでしょうか？ 今、世界中で、抗菌薬が効かない細菌(耐性菌)が問題

抗菌薬使用量を33%減らす②内服抗菌薬では50%減らす」と発表されました。

になっています。年間70万人が亡くなり、「ヒトは新たなウイルス感染症ではなく、耐性菌で命を失う時代が来る」とWHO(世界保健機関)は警鐘を鳴らしています。

私たちの目標は抗菌薬を正しく使い、将来の子どもたちに有効な抗菌薬を残すこと。そのために①ウイルスの風邪に抗菌薬は効かない②処方された抗菌薬は指示通り内服を

1928年、ペニシリンの発見で、多くの人が命を落とした細菌感染症の治療が可能になりました。抗菌薬はまさに「魔法の薬」でした。

③残った抗菌薬を「とりあえず」内服するのはやめる④風邪の予防に手洗い・うがいを⑤ワクチンを接種して、感染症を予防する――の5つをご理解ください。

しかし、細菌はとても賢く、生命力が強く、自分の遺伝子を変化させ耐性を獲得し続けました。人間がいくら知恵を絞って新薬を開発しても、新

小さな一歩かもしれませんが、大きな力につながりますように。そう祈りながら日々の診療にあたっています。

*

たな耐性菌が現れ、いちたごっこ状態。ついには、たった90年弱で「多剤耐性菌」が出現したのです。

「わたしにはマフラーを、ママにはおこらないおくすりをください」

そんな耐性菌を減らすための具体的な行動計画が「AMRアクションプラン」で、日本からも2016年、2020年までに①全体の

次女が5歳の時に書いた、サンタさんへの手紙です。そんな「魔法のくすり」をどなたか私にくださいませんか？

